

問1 白村江の戦いのあと、日本に亡命してきた人々など、大陸から高い技術をもたらした人々を何という？

1. 地頭 2. 御家人 3. 渡来人 4. 守護

問2 蘇我氏を倒したあとの大化の改新で、土地や人民をすべて天皇のものとする政治のしくみを何という？

1. 公地公民 2. 口分田 3. 班田収授法 4. 租庸調

問3 唐や新羅からの侵攻に備えて、九州北部の防衛のために配置された兵士を何という？

1. 租庸調 2. 防人 3. 庚午年籍 4. 班田収授法

問4 聖徳太子が、中国の隋から進んだ政治制度や文化を学ばせるために派遣した人物は誰？

1. 阿倍仲麻呂 2. 吉備真備 3. 菅原道真 4. 小野妹子

問5 壬申の乱で敗れた大友皇子の父であり、大津宮へ遷都した天皇は誰？

1. 持統天皇 2. 天智天皇 3. 天武天皇 4. 聖武天皇

問6 663年に、百済復興を目指した日本軍が唐・新羅の連合軍に大敗した戦いを何という？

1. 承久の乱 2. 壬申の乱 3. 白村江の戦い 4. 関ヶ原の戦い

問7 推古天皇のもとで摂政として登用され、聖徳太子とともに政治を行った有力豪族は誰？

1. 聖徳太子 2. 中臣鎌足 3. 物部守屋 4. 蘇我馬子

問8 飛鳥時代に、推古天皇の摂政として仏教を広め、法隆寺などを建立した人物は誰？

1. 聖徳太子 2. 天武天皇 3. 推古天皇 4. 中大兄皇子

問9 663年に日本軍が朝鮮半島で唐・新羅の連合軍と戦い、大敗した戦いを何という？

1. 川中島の戦い 2. 白村江の戦い 3. 壬申の乱 4. 壇ノ浦の戦い

問10 白村江の戦いのあと、九州の防衛や外交の拠点として置かれた役所を何という？

1. 大宰府 2. 平泉 3. 平城京 4. 平安京

問11 聖徳太子が制定し、役人が従うべき命令を説いた憲法を何という？

1. 大宝律令 2. 御成敗式目 3. 大化の改新の詔 4. 十七条の憲法

問12 中国の隋や唐の制度を手本として、古代日本で編纂・施行された国家の基本となる制度を何という？

1. 公地公民制 2. 摂関政治 3. 律令制度 4. 封建制度

問13 聖徳太子が役人の心得として、仏教の「仏・法・僧」を敬うことを記した文書を何という？

1. 十七条の憲法 2. 冠位十二階 3. 大宝律令 4. 大化改新の詔

問14 十七条憲法において、政治の指針として取り入れられた、インドで生まれ朝鮮半島を経由して伝わった宗教は何？

1. 道教 2. 仏教 3. 儒教 4. 神道

問15 聖徳太子が、中国の隋に対して対等な外交関係を求めて送った使節を何という？

1. 日宋貿易 2. 遣明使 3. 遣隋使 4. 遣唐使

問16 聖徳太子が、役人たちの道徳や政治の心得として定めた法令を何という？

1. 養老律令 2. 大化の改新 3. 大宝律令 4. 十七条の憲法

答え合わせ・解説

問1	答え 3 渡来人	渡来人たちは、土木建築、製鉄、機織り、漢字や儒教などの学問といった、当時としては極めて高度な技術や知識を日本に伝えました。特に白村江の戦いの後の防衛施設建設や、寺院の建立には彼らの技術が不可欠でした。
問2	答え 1 公地公民	「公地公民」とは、それまで豪族たちが私有していた土地や人民を、すべて国家（天皇）の管理下に置く制度です。これにより、豪族の力を抑えて天皇による一元的な支配体制の基盤を作ろうとしました。
問3	答え 2 防人	政府は国防を最優先の課題とし、九州の北部に「防人」を配置して警備を強化しました。また、九州各地や瀬戸内海沿岸には水城や山城を築き、万が一の侵攻に備える軍事施設を整えました。これらの防人は、東国などから選ばれた農民が任期を終えて交代で任務にあたるものでした。
問4	答え 4 小野妹子	小野妹子は、聖徳太子の命令を受けて遣隋使として隋の都へ派遣されました。当時の隋の皇帝である煬帝に、天皇の親書（「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す」で始まるもの）を手渡し、対等な関係を要求しました。彼はこの命がけの外交を通じ、大陸の優れた文化や法律制度を日本へ持ち帰りました。
問5	答え 2 天智天皇	天智天皇は、唐や新羅の勢力に備えるために都を近江大津宮へ移し、強力な国家建設を推進しました。特に、日本で初めて全国的な戸籍である「庚午年籍」を作成したことは、国が国民を把握し、税を確実に徴収するための非常に重要な転換点となりました。
問6	答え 3 白村江の戦い	663年、日本は百済の遺臣とともに大軍を派遣しましたが、白村江で唐と新羅の強大な連合軍に大敗を喫しました。この敗戦は、当時の日本にとって国際的な大きな転換点となりました。
問7	答え 4 蘇我馬子	推古天皇が即位した際、馬子は甥である聖徳太子を摂政として登用し、新しい国づくりを主導しました。仏教の導入を積極的に進め、四天王寺の建立などにも深く関わりました。
問8	答え 1 聖徳太子	聖徳太子は、推古天皇の摂政として、冠位十二階や十七条の憲法を制定し、能力重視の政治や天皇を敬う思想を広めました。また、仏教を深く信仰し、法隆寺や四天王寺を建立するなど、宗教面からも国の平和を祈願しました。
問9	答え 2 白村江の戦い	日本は百済を助けるために軍を派遣しましたが、白村江（はくすきのえ）という場所で唐・新羅軍に完敗しました。この敗戦により、日本は朝鮮半島での影響力を失い、次に唐が日本へ攻めてくることを恐れるようになりました。
問10	答え 1 大宰府	大宰府は、九州地方（特に博多周辺）を管轄する行政機関です。軍事防衛だけでなく、外国との外交交渉を行う窓口としての役割も持ちました。周囲には「水城」という土木施設を築き、守りを固めたとされています。
問11	答え 4 十七条の憲法	604年に聖徳太子によって制定された「十七条の憲法」は、役人が守るべき道徳や心構えを説いたものです。特に「和をもって貴しとなす」という言葉が有名で、天皇への服従や、仏教を重んじることを説いています。
問12	答え 3 律令制度	「律」は今の刑法、「令」は今の行政法にあたるもので、これらを組み合わせて国を治める体制を律令制度といいます。この制度により、中央政府が地方を支配し、すべての国民を戸籍で管理して税や労役を課するという中央集権的な国家体制が築かれました。
問13	答え 1 十七条の憲法	604年に制定されました。役人が守るべき心構えを全17条で記しており、その第2条には「三宝（仏・法・僧）を敬うこと」が説かれています。儒教的な考え方や仏教の教えに基づき、和を大切にすることなどを強調しました。
問14	答え 2 仏教	仏教は神道と共存しながら急速に広まり、特に聖徳太子がその普及に努めました。法隆寺などの寺院が建立され、仏像や彫刻などの仏教芸術も発展しました。十七条憲法でも、仏教を篤く敬うことが説かれています。
問15	答え 3 遣隋使	遣隋使は、小野妹子らによって何度か派遣されました。単なる交流だけでなく、隋の進んだ政治体制や文化、技術を取り入れることが大きな目的でした。当時の国交においては中国が中心となる朝貢的な関係が一般的でしたが、聖徳太子は「日出づる処の天子」という表現を用いることで、日本が対等な独立国であることを示そうとしました。
問16	答え 4 十七条の憲法	604年に制定された十七条の憲法は、仏教や儒教の考え方を基盤に、役人が守るべき心構えを説いたものです。「和をもって貴しとなす」といった協調の精神や、天皇に仕える者としての自覚、公正な政治を行うことなどが記されています。